

各 位

会社名：コマツ（株式会社小松製作所）  
（コード：6301 東証第一部、大証第一部）  
代表者名：代表取締役社長 野路 國夫  
問合せ先：コーポレートコミュニケーション部長 浦野 邦子  
（TEL：03-5561-2616）

### 産機事業の組織再編に関するお知らせ （完全子会社同士の合併および当社による完全子会社の簡易吸収合併に関するお知らせ）

当社は、2010年11月16日開催の当社取締役会において、当社の完全子会社で、産業機械他セグメントに属するコマツNTC株式会社（以下「コマツNTC」）とコマツ工機株式会社（以下「コマツ工機」）が、2011年4月1日を期して、下記のとおり合併することを承認しました。また、同じく産業機械他セグメントに属するコマツエンジニアリング株式会社（以下「コマツエンジニアリング」）を、当社が2011年4月1日を期して、簡易吸収合併することを決定しました。

当社産機事業の主要な顧客である自動車業界では、一昨年秋以降の世界同時不況の影響により、設備投資が大きく減少しましたが、その後、中国、インド、ブラジルなどにおける自動車生産の増加に伴い、現在は回復に向かっています。また、中国を中心としたアジア地域で、太陽電池市場向けの設備投資が好調に推移しています。これらにより、産業機械の需要は、今後も中国、アジア、中南米など当社の「戦略市場」において伸長していくことが予想されます。

このような状況下、産機事業をコマツのコア事業として持続的に発展させることを目指し、2010年4月のプレス事業の再編に続き、このほど工作機械事業を担当するコマツNTCとコマツ工機の合併ならびに当社とコマツエンジニアリングの合併による組織再編を行うこととしました。当社とコマツエンジニアリングの合併に関しては、コマツエンジニアリングの持つ技術・ノウハウを取り込み、産業機械だけではなく建設機械部門におけるモノづくり技術の強化にも繋がります。一方で、事業の選択と集中を進め、効率的な事業運営を行います。

なお、これらの合併行為は、完全子会社同士の合併および当社による完全子会社の簡易吸収合併であるため、開示事項・内容を一部省略して開示しています。

#### 記

### 1. コマツNTCとコマツ工機の合併

#### 1. 合併の目的

コマツNTCとコマツ工機は、自動車業界向けの工作機械や半導体製造装置を主たる事業とし、共通性が高いことから、これまでも技術の相互適用やインフラの共有化などにより、シナジーを追求してきました。

今回の合併により、両社の技術とノウハウを結集するとともに、戦略市場での販売・サービス体制の強化を進めていきます。これにより、幅広い商品群を備え、また顧客の次世代技術への要請に応える商品を迅速に開発・製造・提供することで事業拡大を図っていきます。

#### 2. 合併の要旨

##### （1）合併の日程

コマツNTC・コマツ工機の合併決議取締役会	2010年11月15日
当社の取締役会決議	2010年11月16日
合併契約締結	2010年11月16日

合併の予定日（効力発生日）

2011年4月1日

なお、本合併に係る、コマツNTC・コマツ工機の合併決議株主総会（会社法第319条第1項に基づく同意取得を含む）は、2011年2月～3月中を予定しています。

## （2）合併方式・合併後の商号

コマツNTCを存続会社とする吸収合併で、コマツ工機は解散します。合併後の商号はコマツNTC株式会社となる予定です。また、当社の完全子会社同士の合併であるため、新株式の発行、合併交付金の支払いはありません。

なお、当該会社の役員については今後決定します。

## 3. 合併当事会社の概要（2010年11月16日現在）

	存続会社	消滅会社
商号	コマツNTC株式会社	コマツ工機株式会社
本店所在地	東京都品川区南大井六丁目26番2号	石川県小松市符津町23番地
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 堀井 弘之	代表取締役社長 佐々木 仁
事業内容	トランスファーマシン・専用機、研削盤、マシニングセンタ、レーザ加工機、半導体製造装置等の設計、製造、販売、サービス	工作機械および半導体素材製造装置の製造、販売、サービス
設立年月日	1945年7月1日	1994年5月13日
資本金	6,014百万円	600百万円
決算期	3月31日	3月31日
大株主及び持株比率	(株)小松製作所 100%	(株)小松製作所 100%

## 4. 業績に与える影響

本合併は、当社の完全子会社同士の合併であるため、当社の連結業績に与える影響は軽微です。

## II. 当社を存続会社とするコマツエンジニアリングの吸収合併

### 1. 合併の目的

コマツエンジニアリングは、コマツグループの一員として長年蓄積してきた技術やノウハウを活かし、①生産工程のコスト低減や効率化を実現する「生産合理化エンジニアリング」、②高付加価値で幅広いサービスを提供する半導体関連装置・計測事業などの「メカトロ・サービス」、③建設機械や各種産業機械の受託開発・製作を行う「ODM (Ordered Design Manufacturing)」など、開発からメンテナンスに至る幅広い分野についてソリューション&サポート事業を展開しています。また、溶接ロボット、試験・計測装置の分野では、コマツエンジニアリングの技術がコマツグループならびに協力企業のモノづくりの一面を支えてきました。

当社は、今回の合併により、コマツエンジニアリングが培った技術を取り込み、生産技術部門および開発設計部門を強化し、モノづくり技術の優位性をさらに高めていきます。一方で、コマツエンジニアリングが行っている各種事業については、事業の選択と集中を進めていきます。

### 2. 合併の要旨

#### （1）合併の日程

当社・コマツエンジニアリングの合併決議取締役会

2010年11月16日

合併契約締結

2010年11月16日

合併の予定日（効力発生日）

2011年4月1日

なお、当社においては、会社法第796条第3項の規定により会社法第795条第1項に定める株主総会の承認を得ることなく、またコマツエンジニアリングにおいては、会社法第784条第1項の規定により会社法第783条第1項に定める株主総会の承認を得ることなく、それぞれ本合併を行います。

(2) 合併方式

当社を存続会社とする吸収合併で、コマツエンジニアリングは解散します。

(3) 合併に係る割当ての内容

当社は、コマツエンジニアリングの全株式を保有しており、本合併による新株式の発行および資本金の増加ならびに合併交付金の支払いはありません。

(4) 合併に伴う新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

該当事項はありません。

3. 合併当事会社の概要（2010年11月16日現在）

	存続会社		消滅会社	
商 号	株式会社小松製作所		コマツエンジニアリング株式会社	
本 店 所 在 地	東京都港区赤坂二丁目3番6号		石川県小松市今江町九丁目406番地	
代表者の役職・氏名	代表取締役社長 野路 國夫		代表取締役社長 成瀬 俊久	
事 業 内 容	建設・鉱山機械、ユーティリティ（小型機械）ならびに産業機械等の各製品の研究開発、生産、販売、サービス等		溶接ロボット（中・厚板用）および試験・計測装置等の開発・生産・販売・サービス、建設機械・産業機械の開発設計業務請負	
設 立 年 月 日	1921年5月13日		1976年10月15日	
資 本 金	70,120百万円		140百万円	
発 行 済 株 式 数	998,744,060株		280,000株	
決 算 期	3月31日		3月31日	
大株主及び持株比率 (2010年3月31日現在)	日本トラスティ・サービス 信託銀行（株）（信託口）	5.19%	(株)小松製作所	100%
	太陽生命保険（株）	4.20%		
	日本マスタートラスト信託 銀行（株）（信託口）	3.95%		
	日本生命保険相互会社	3.33%		
	ジェーピー モルガン チェース バンク 380055 (常任代理人 株式会社み ずほコーポレート銀行決済 営業部)	2.33%		
直前事業年度（2010年3月期）の財政状況および経営成績				
総 資 産	1,959,055百万円（連結）		5,987百万円（単体）	
純 資 産	876,799百万円（連結）		2,929百万円（単体）	

1 株当たり株主資本	861 円 51 銭	10,461 円 15 銭
売上高	1,431,564 百万円	8,857 百万円
営業利益	67,035 百万円	279 百万円
税引前当期純利益	64,979 百万円	214 百万円
当期純利益	33,559 百万円 (※)	118 百万円
1 株当たり当期純利益	34.67 円 (※)	424.52 円

※米国財務会計基準審議会会計基準編纂書 810 による 「当社株主に帰属する四半期純利益」

#### 4. 合併後の状況

- |           |   |
|-----------|---|
| (1) 商号    | 株式会社小松製作所   |
| (2) 事業内容  | 建設・鉱山機械、ユーティリティ（小型機械）ならびに産業機械等の各製品の研究開発、生産、販売、サービス等 |
| (3) 本店所在地 | 東京都港区赤坂二丁目3番6号                                      |
| (4) 代表者   | 代表取締役社長 野路 國夫                                       |
| (5) 資本金   | 70,120 百万円  |
| (6) 総資産   | 1,959,055 百万円（連結）                                   |
| (7) 決算期   | 3月31日   |

#### 5. 業績に与える影響

本合併は、当社の完全子会社との合併であるため、当社の連結業績に与える影響は軽微です。

以 上